

研究協力をお願い

昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究への協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

小児マイコプラズマ感染症の診断予測因子の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2017年4月から2028年3月までに昭和大学藤が丘病院を発熱、咳嗽で受診し、マイコプラズマの検査と血液検査を行ったお子さん。

2. 研究目的・方法

・研究目的

マイコプラズマは子どもの気管支炎、肺炎の重要な原因菌のひとつですが、一般的な肺炎に用いる抗菌薬に効果を示さないため、早期に適切に診断し、マイコプラズマに効果のある抗菌薬の投与が必要です。マイコプラズマの診断方法には抗原検出法、核酸増幅法、血清診断法などがありますが、検出感度が低い、限られた施設しかできない、検査結果が判明するまで時間がかかるなどの問題があります。もし検査当日に判明する血液検査項目と年齢や症状経過などを組み合わせてマイコプラズマの診断精度を高めることができれば、診療上とても役に立ちます。

そこで今回、マイコプラズマ肺炎と非マイコプラズマ肺炎のお子さんの血液検査項目各種、年齢、症状経過などを比較検討することで、マイコプラズマの診断が予測できるのか解明していきたいと考えています。

・方法

2017年4月から2028年3月までに発熱、咳嗽で昭和大学藤が丘病院小児科に受診し、通常診療としていずれかのマイコプラズマの検査と血液検査を行ったお子さまを対象に、マイコプラズマ肺炎と非マイコプラズマ肺炎の2群グループにわけて、発熱や咳嗽持続期間など問診内容、血液検査、レントゲン画像などといった既存の情報を診療録から収集し統計学的に解析します。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2028年8月31日まで。

